

「北軽井沢の子ギツネ」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

まずは下の写真を見ていただきたい。北軽井沢の町道を走る、自動車の中から撮った写真である。こういう写真に○がついていると、まるで心霊写真のようだが、写真には子ギツネが3匹写っている。



実は車で通りかかったときに、4匹のキツネが道路で遊んでいた。親ギツネは右の小道に逃げ、子ギツネ3匹が左側の石垣の茂みに逃げたのだ。



このあたりにはキツネ(ホンドギツネ)が多く、毎年この石垣近くで子育てする姿が見られる。今回は道をはさんで親ギツネとはぐれてしまったので、ちょっと心配そうに親のほうを見つめていた。



一番小さい子キツネは、最初茂みの中に隠れて、顔だけを出していた。しかし、元来好奇心の旺盛な子ギツネ。私の車も気にせず、すぐに石垣の上に飛び乗って、こちらをじっと見ている。



この石垣は、私の山荘から200メートルぐらいしか離れていない。当然、庭にもよく出没する。小さな子ギツネは、まだネズミなどの餌をとるのが苦手で、地面近くを飛んでいる蛾に飛びついて飢えをしのいでいる。特に害はないのだが、一つだけ困っていることがある。子ギツネが、テラスに脱いだサンダルや靴を、くわえて持ち去ってしまうのだ。一度、サンダルをくわえて歩いているところを目撃したので、間違いなく子ギツネが犯人・・・いや「犯ギツネ」である。まあ、かわいいので許すとしましよう。